

週刊 タバコの正体

下の写真は手術をうける人に向けた禁煙啓発ポスターです。手術が必要な病状は入院生活を伴う深刻な場合が多いと思われます。そして手術をしたからすぐ快復するわけではなく、術後の経過だけで容態が悪くなる可能性もある事を意識しておかなければなりません。

タバコは、そんな手術後の快復を妨げる原因となっている事を知っているでしょうか。下のポスターには、「喫煙は、手術後の合併症を増やし、傷の治りを悪くする」と警告しています。合併症とは別の病気が発症する事で、手術後に合併症が起こると快復するのが長期化するばかりか、容態が悪化する場合もあるのです。

そこで、多くの病院では喫煙者には手術前に禁煙するよう指導しています。そして禁煙できるまで手術を実施しない病院もあるほど、タバコは手術やその後の経過に悪影響を及ぼすわけです。

喫煙は、様々な病気の原因になるだけでなく、病気から快復する事も妨げる原因にもなっています。そんな事情を知れば、ますますタバコを吸い始めるべきではないと思いますよね。

産業デザイン科 奥田 恭久

手術前には、まず

禁煙

- ✓ point1
喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします。
- ✓ point2
禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり、早いほど有効です。
- ✓ point3
禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します。
- ✓ point4
受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう。

公益社団法人日本麻酔科学会
TGM007 神戸中央区東川崎町1-5-2 神戸キネマセンター6F

手術の傷が
膿んだり開いたり
します

手術後の合併症の
リスクが増殖します

肺炎などのリスクが
3倍になります

心筋梗塞・脳梗塞
のリスクが
上がります

だから私は禁煙します

慶応義塾大学医学部上部消化管班 HP から